資　料　編

＜平成１８年　３月 改訂＞
＜平成１９年　４月 改訂＞
＜平成２１年　２月 改訂＞
＜平成２２年１２月 改訂＞
＜平成２３年　８月 改訂＞
＜平成２２年１２月 改訂＞
＜平成２４年　２月 改訂＞
＜平成２４年　７月 改訂＞
＜平成２５年　４月 改訂＞
＜平成２６年　３月 改訂＞
＜平成２８年　４月 改訂＞
＜平成３０年１２月 改訂＞
＜平成３１年　１月 改訂＞
＜平成３１年　３月 改訂＞
＜令和　元年　８月 改訂＞
＜令和　３年　１月 改訂＞

添付の資料（書式等の標準見本）に準拠して、大会の準備・運営を実施して下さい。

公益社団法人 日本パワーリフティング協会

資料１　　開催要項
＜平成１８年　３月改訂＞
＜平成１９年　４月改訂＞
＜平成２１年　２月改訂＞
＜平成２２年１２月改訂＞
＜平成２３年　８月改訂＞
＜平成２４年　７月改訂＞
＜平成２５年　４月改訂＞
＜平成２６年　３月改訂＞
＜平成２８年　４月改訂＞
＜平成３０年１２月改訂＞
＜平成３１年　１月改訂＞
＜平成３１年　３月改訂＞
＜令和　元年　８月改訂＞
＜令和　３年　１月改訂＞

＜開催要項は、標準見本。大会によって、項目名称、記載内容、記載順を必要により変更しても構わない＞
＜当該開催要項において、ゴシック体は記載すべき本文。明朝体は解説、補足説明＞
＜「⇒」は、この文中での解説や注意事項であり、開催要項に記載しない＞

第　回　全日本　　選手権大会　開催要項

＜世界パワーリフティング選手権大会及びアジアパワーリフティング選手権大会選考競技会＞

・日　　時：＿＿＿＿年＿＿月＿＿日(日)　受付８：３０　　開会式９：４５　　競技開始１０：３０
・会　　場：＿＿＿＿＿＿＿＿体育館（別紙案内図参照）
　　住 所：＿＿＿県＿＿市＿＿町＿＿丁目＿＿番＿＿号　TEL：＿＿＿＿＿＿＿＿
　　当日の問合せ・連絡先：携帯　TEL＿＿＿＿＿＿＿＿
・主　　催：公益社団法人 日本パワーリフティング協会（ＪＰＡ）
・主　　管：＿＿県パワーリフティング協会
・協　　力：＿＿市パワーリフティング協会
・後　　援：＿＿県、＿＿県教育委員会、公益財団法人＿＿県体育協会
　　＿＿市、＿＿市教育委員会、公益財団法人＿＿市体育協会
・協　　賛：＿＿＿新聞社、＿＿＿テレビ
・階　　級：男子９階級（kg級）：５３、５９、６６、７４、８３、９３、１０５、１２０、１２０超
　　女子９階級（kg級）：４３、４７、５２、５７、６３、６９、７６、８４、８４超
　　⇒男子５３ｋｇ級と女子４３ｋｇ級は、ジュニアとサブジュニアのみ実施。一般とマスターズでは設定しない。
・参加区分：①一般の部（年令不問）
　　②マスターズⅠ　カレンダーイヤー４０～４９歳
　　③マスターズⅡ　カレンダーイヤー５０～５９歳
　　④マスターズⅢ　カレンダーイヤー６０～６９歳
　　⑤マスターズⅣ　カレンダーイヤー７０歳以上
　　⇒カレンダーイヤーの年齢とは、開催年の１月１日から１２月３１日の間に誕生日となった時の年齢（大会開催年の１２月３１日時点の年齢）。
・競技方法：フルギア競技（又は、ノーギア競技）。ＪＰＡルールによる。ラウンド制。２面で実施。
　　申込階級と当日の検量が相違する場合は、失格とする。
・参加資格：①＿＿＿＿年度のＪＰＡ選手登録済みで、大会当日満１４才以上の日本国籍を有する男女及び過去１年以上適法な在留資格に基づき日本に滞在している満１４才以上の外国籍の男女であって、標準記録を突破（〇〇〇年〇月〇日～〇〇〇年〇月〇日迄有効）した選手。
　　②全日本パワーリフティング選手権大会（一般のみ）においては、標準記録に満たない選手であっても、都道府県大会の優勝者又はブロック大会の上位入賞者で、当該ブロック長の推薦

により技術委員会が認めた選手は、ブロック推薦枠として、ブロック毎に男女合計３名まで出場できる。 又、全日本学生選手権大会の優勝者で、全日本学生連盟理事長の推薦により技術委員会が認めた選手は、学連推薦枠として、男女合計３名まで出場できる。

尚、ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会の一般の部においても同様とする。

⇒全日本ベンチプレス選手権大会の開催要項においては、次の文面とする。

②全日本ベンチプレス選手権大会（一般のみ）においては、標準記録に満たない選手であっても、都道府県大会優勝者又はブロック大会上位入賞者で、当該ブロック長の推薦により技術委員会が認めた選手は、ブロック推薦枠として、ブロック毎に男女合計３名まで出場できる。

※上記の推薦枠行使に際しては、本大会の標準記録獲得期間内に公式競技会に出場した選手であり、かつ、本大会の会申込み締切り前に推薦手続き及び出場申込が完了した場合に限り有効とする。

③標準記録に満たない選手であっても、上記②にかかわりなく、大会を主管する都道府県協会に登録している選手で、主管協会の理事長の推薦により技術委員会が認める選手は、大会主管協会推薦枠として、男女合計３名まで出場できる。

⇒ＪＰＡ主催の全ての全国規模競技会に適用する。

④事前に、ＪＰＡが主催するアンチ・ドーピング講習会を受講した選手。

平成２９年度（２０１７年４月１日）より、全国規模の大会へ出場する選手は、アンチ・ドーピング講習会の受講証明書の提示が義務付けられている。大会に参加する選手は、参加申込み時にアンチ・ドーピング講習会受講証明書の控え（コピー）を添付すること。

１）アンチ・ドーピング講習会の受講証明書の有効期限は、２０１９年度までの受講は受講日より２年間。なお、２０２０年度の受講からは受講日より１年間。

２）アンチ・ドーピング講習会は、次の通り本大会の開催時に実施する。

日　時：１回目　　〇年〇月〇日（〇）　〇時より（講師：●●　●●）
　　２回目　　〇年〇月〇日（〇）　〇時より（講師：●●　●●）

場　所：〇〇体育館〇〇会議室

※本大会参加選手が、試技前にこの講習会を受講する場合、有効として扱う。

⑤セコンド（コーチ）については、以下の資格条件を満たしていること

１）ＪＡＤＡの「日本アンチ・ドーピング規程」違反を理由として、資格停止の対象となっていないこと

２）ドーピングに関連して、刑事上有罪となっていないこと

３）ドーピングに関連して、ＪＰＡの「ドーピング防止規程」に基づく処分を受けていないこと

４）ドーピングに関連して、所属する団体、事業所等で職務上の処分を受けていないこと

⇒詳細は、ＪＰＡホームページでエントリー掲載時に掲載する。

⑥参加申込書とともに自筆署名した「摂取医薬品・サプリメント申告書」を提出すること。参加申込書の誓約書部分に署名捺印が無い場合、又、「摂取医薬品・サプリメント申告書」の同時提出がない場合、本大会への参加は認められない。申込書等を不受理として返却する。

⇒平成２７年度、平成３０年度において、ドーピング規程違反者を出したことを踏まえ、アンチ・ドーピング活動を更に徹底推進することになり、選手一人一人のアンチ・ドーピングに関する意識付け強化のために、義務付けられたもの。

⑦参加選手は、事前にＪＰＡのホームページからオンライン手続きにより選手登録を完了しておくこと。交付された「ＩＤナンバー」の記載がない参加申込書は不受理とし、返却する。

⑧地方協会が未組織又は活動休止状態の場合は、次のブロック長の所属する都道府県協会に連絡をとり、選手登録をすること。

ブロック	氏　　名	所属県	電　　話	E-mail
北海道・東北	太田　勇吉	青森県	017-718-1775	ootay@lemon.plala.or.jp
関　東	寺門　浩之	茨木県	029-298-2407	fumi.23@d6.dion.ne.jp　（酒井）
北信越	北澤　国彦	長野県	090-2831-8509	info@nagano-power.org

東　海	伊藤　教雄	愛知県	0533-67-4123	norio20120610@yahoo.co.jp
近　畿	門　眞一郎	和歌山県	090-9111-3040	kado.sinitirou@violet.plala.or.jp
中　国	石本　直樹	岡山県	0868-28-0535	naoki.73@io.ocn.ne.jp
四　国	高井　隆義	徳島県	088-663-4705	takap1091@yahoo.co.jp
九　州	濱里　　一	沖縄県	098-995-8459	hajime_strongest@yahoo.co.jp

⇒この表は、適宜、記載位置を変えてもよい。

・標準記録：全日本ジュニア・マスターズ標準記録＜一例＞

男　子				女　子			
階 級	Ｊｒ/マスター Ⅰ	マスター Ⅱ	マスター Ⅲ	階 級	Ｊｒ/マスター Ⅰ	マスター Ⅱ	マスター Ⅲ
５３kg				４３kg			
５９kg				４７kg			
６６kg				５２kg			
７４kg				５７kg			
８３kg				６３kg			
９３kg				６９kg			
１０５kg				７６kg			
１２０kg				８４kg			
１２０kg 超				８４kg 超	―	―	―

※男子５３kg 級、女子４３kg 級は、サブジュニア、ジュニアのみ。一般とマスターズでは設定しない。（注）マスターⅣに関しては、今のところ標準記録はなし。

⇒標準記録表は、開催要項の中ではなく別紙にて記載してもよい。

・服　　装：リフティングスーツ（ツリパン）とＴシャツの着用が原則。

リストラップ・ベルト・膝用サポーターは使用可。スーパースーツ・ベンチシャツ・ニーラップは使用禁止。デッドリフトにおいては、ひざ下までのハイソックスを着用のこと。コスチュームチェックは実施しないが、競技の中で違反がないか判定する。

⇒これはノーギア大会の記載例。服装について熟知していないケースがあるので、記載する。

・表　　彰：個人戦　男女別各階級１～３位＝メダルと賞状　４～６位＝賞状

団体戦　①クラブ対抗団体戦＝男女別＜２位まで楯＞　１～６位まで賞状

②都道府県別団体戦＝男女別＜２位までトロフィー＞　１～６位まで賞状

＜団体戦は＿＿＿年度ＪＰＡ登録団体で、１団体３名以上＞

⇒団体戦の盾やトロフィーの贈呈については、主管協会の判断と負担による。

得　点　１位＝12点、２位＝９点、３位＝８点、４位＝７点、５位＝６点、６位＝５点、７位＝４点、８位＝３点、９位＝２点、１０位以下＝1 点（１団体上位５名までが得点計算対象）

※一般の部門とジュニア、サブジュニア、マスターズ（以下、ジュニア等とする）の部門が同時開催された際にダブルエントリーした場合、クラブ対抗戦、都道府県対応戦ともにジュニア等の得点を１位から８点、７点、６点・・・８位以下１点とし、一般部門での得点と比較して高い方の得点（一般で６位５点、ジュニアで２位７点の場合、７点）で計算する。

★以下のとおり、点数配分を例示する。

	１位	２位	３位	４位	５位	６位	７位	８位	９位	１０位以下
一　　般	１２	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ジュニア	8	7	6	5	4	3	2	1	1	1
マスターズ	8	7	6	5	4	3	2	1	1	1

※団体戦の点数計算対象は得点上位５名まで。マスターズはその中での年齢区分は無く、一括りとする。

※ただし、同時開催であっても、一般団体戦、サブジュニア団体戦、ジュニア団体戦、マスターズ団体戦のようにカテゴリー別に団体表彰される場合は、それぞれ１位１２点、２位９点・・・として計算する。

★以下の通り、点数配分を例示する。

順位	１位	２位	３位	４位	５位	６位	７位	８位	９位	１０位以下
点数	１２	９	８	７	６	５	４	３	２	１

※マスターズ大会においては、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ等の年齢区分による団体戦は無い。

特別賞　①文部科学大臣杯（最優秀選手賞）＝１名

②優秀選手賞＝男女各１名（フォーミュラ重量で選考する）

③種目別ベストリフター賞＝男女各１名（フォーミュラ重量で選考する）

⇒②と③を表彰するかどうかは、主管協会に一任する。

⇒文部科学大臣杯の対象になっている大会では、「受賞選手は次年度の同大会開会式でカップを返還すること。受賞選手が出場しない場合、事前にＪＰＡ事務局に送付しておくこと」を付記する。

・参 加 費：個人戦：一般社会人＝_____円　　大学生・高校生＝_____円

★一般の部とマスターズのダブルエントリー＝_____円

⇒個人戦参加費は１０，０００円を最高とする。ダブルエントリーの場合は、片方を半額にする等、選手の負担にならないよう配慮する。

団体戦＝無料

《WEB エントリーフォームより申込み》

大会名（例. 第〇〇回ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会）

参加費は WEB エントリーフォーム内で決済可能。

支払い方法を明記する。システム利用料が別途かかる場合は料金と負担者を明記する。

申し込みリンク先

リンクを貼る

《郵送による申込み》

参加費を指定の口座に振り込み、以下の書類を忘れずに同封し大会事務局へ郵送にこと。同封されていない場合、受理せず返却する。各加盟団体はまとめて、個人は各々で申し込むこと。

①大会参加申込書兼記録カード（必要事項を記入し、署名・捺印をすること。捺印が無い場合、不受理とし返却する）

②振込書控のコピー（通信欄に選手名を忘れずに記載すること）

③アンチ・ドーピング講習会に関する受講証明書のコピー

④摂取医薬品・サプリメント申告書

⑤団体登録名と団体登録ＩＤナンバー（クラブ対抗戦申込みの場合）

★送付先

〒____－_____　　____県____市____町___丁目____番____号

〇〇県パワーリフティング協会　事務局_____

TEL　0000－00－0000

★参加費の振り込み先は次のとおり。なお、振り込み手数料は各自負担願います。

_____ 銀行_____町支店

普通預金口座番号：_____

名義人：〇〇県パワーリフティング協会

・申込締切：　　年　月　日（　）

・国際大会選考：選考方法は、ＪＰＡ国際大会選手選考基準に基づく。

・ドーピング検査：①本大会は、ＪＡＤＡの日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会であり、数名をランダムに選んで検査を実施する。

②本大会参加者は、本大会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなす。

③ＪＡＤＡ発行の「１８歳未満競技者親権者同意書」の作成し、大会当日は携帯する事。（同意書のない選手で、検査対象となった場合、７日以内に、ＪＡＤＡ事務局へ提出が必要事）

④本大会は、ＴＵＥ事前申請対象競技会となっているので、治療目的で禁止物質を使用している選手は、ＪＡＤＡにＴＵＥ申請を行うこと。

・宿　　泊：別紙案内に従って申し込んで下さい。体重計は、ホテル『　　』に設置します。

・物品販売：物品販売及び販売目的のビデオ撮影を希望される場合には、ＪＰＡ財務委員会へ届け出をすること。連絡先は次のとおり。

〒678-0239　兵庫県赤穂市加里屋 98-16
財務委員会　委員長　三浦 重則
ＴＥＬ：０７９１－４３－２０００
E-mail：jpa.honbu.2020@gmail.com

出店については、・・・・・・・・（条件が必要な場合は、その旨記載する）の上、大会事務局の　　宛て申し出て下さい。なお、場所は指定されます。会場案内図を参照願います。

・そ の 他：①電話・ＦＡＸでの申込み、締切日を過ぎての申込みは受理しない。

②口座振り込みのコピー、アンチ・ドーピング講習会の受講証明書のコピーが同封されていない参加申込書は、受理しない。

③ＩＤナンバーが参加申込書に記入されていない場合、参加申込書は受理せず、返却する。

④締切日を過ぎてから参加を取りやめても、参加費は返却しない。

⑤会場内では安全上の注意事項を厳守のこと。

⑥競技エリアには、選手と大会関係者以外の立ち入りを禁止する。

⇒「その他」の項目には、以上の他、事故防止に関する注意喚起事項等を記載すること。

★本大会の申込みにあたって取得した個人情報は、本大会の運営及び国際大会選手選考のためにのみ利用します。申込み時点で本人の同意が得られたものとします。

⇒大会参加者の個人情報に関しては、現状、ＪＰＡ及び主管協会ともに、個人情報保護法の規制は受けません（規制の対象は、６ヶ月間で５，０００件以上の個人情報データを扱う事業者です）が、誤解を避けるために個人情報保護法に関する対応内容を記載する。

★本大会に参加される選手、関係役員及びスタッフを含めた会場風景や競技中の写真を、ＪＰＡが作成する各種のＰＲ用ポスター、ＪＰＡが主催する大会案内用ポスター、ＪＰＡのホームページ、ＪＰＡ時報への掲載等、ＪＰＡの事業活動のために利用することがあります。あらかじめご了承下さい。

⇒選手や大会役員の肖像権については、日本国において別段法律上の規制はありませんが、無断で勝手に利用したという印象を与えないために、ＪＰＡの各種の啓発活動、事業活動等に活用させていただく場合があることについて、あらかじめ断りを記載する。

⇒その他、主管協会の事情に応じて、必要事項を追加記載してもよい。

資料2－1　大会申込書兼記録票（記録カード）
平成19年 4月改訂。平成21年 2月改訂。
平成22年12月改訂。平成23年 8月改訂。
平成26年 3月改訂。平成30年12月改訂。
平成31年 2月改訂。令和元年 8月改訂。

第〇回 全日本〇〇選手権大会
参加申込書兼記録票

・予め太枠内及び誓約書欄に記入し、捺印の上、申し込んで下さい。

No.	申込階級	氏　名（ふりがな）	ＩＤナンバー	性　別	生年月日（西暦）
	kg級	（　　）		□ 男子 □ 女子	年　月　日 カレンダーイヤー 歳

参加区分（〇をつける）	□一般　□マスターズⅠ　□マⅡ　□マⅢ　□マⅣ　□ジュニア　□サブジュニア

検　量	セッション	コート	所属都道府県	所属クラブ・団体
kg		Ａ　Ｂ		

本大会への意気込み、キャッチフレーズ等	日本記録挑戦の予定
	□あり　□なし

スクワットのラック高さ	ｃｍ（穴　　個目）
同セーフティバー高さ	ｃｍ（穴　　個目）
ベンチプレスのラック高さ	ｃｍ（穴　　個目）
同セーフティバー高さ	ｃｍ（穴　　個目）
同センター補助　□要　□不要	同足台　□要　□不要

標準記録達成（　　年　　月　　日）	
大会名：	
スクワット	kg
ベンチプレス	kg
デッドリフト	kg
トータル	kg

※会場で検量時、再確認のため第１試技の重量を申告すること。

	第１試技	第２試技	第３試技	ベスト	フォーミュラ記録	種目別順位
スクワット	kg 変更 kg	kg	kg	kg		
ベンチプレス	kg 変更 kg	kg	kg	kg		
			小　計			
デッドリフト	kg 変更 kg	kg	kg 変 kg 変 kg	kg		
フォーミュラ係数			トータル	kg		
順　位			特別表彰			

国際大会参加希望（該当するものに〇をつける）		大会会場での再確認
	アジア大会　□参加希望　□不参加　□検討中	
	世 界 大 会　□参加希望　□不参加　□検討中	□参加希望　□不参加

※参加申込時に国際大会参加希望欄に「〇」をつけなかった場合、参加希望がないものとします。

誓 約 書

（公社）日本パワーリフティング協会　御中
〇〇都道府県パワーリフティング協会　御中　　年　月　日

・本大会の参加に際して、開催期間中に発生した事故やトラブルに関しては、参加者本人が自らの責任において解決するものとし、大会主催者及び主管協会に一切のご迷惑をおかけ致しません。又、将来にわたって一切の請求をしないことを誓約します。
・本大会の参加者本人を含む会場風景や競技中の写真を、ＪＰＡが作成する各種のＰＲ用ポスター、ＪＰＡが主催する大会案内用ポスター、ＪＰＡのホームページへの掲載等、ＪＰＡの事業活動のために利用されることについて、了承します。
・又、日本アンチ・ドーピング機構が定めるアンチ・ドーピング規程及び関係規則類並びにＪＰＡのドーピング防止規程を遵守します。

□同封の受講証明書のとおりアンチ・ドーピングに関する講習会受講済み。　□本大会時、会場で受講予定。

住　所 〒

ＴＥＬ　　ＦＡＸ

氏　名　　㊞　　Ｅ－ｍａｉｌ：

※セコンド担当（最大２名まで。付けなくても構わないし、大会当日でも良いが、事前届け出に協力願います）

氏　名	①	②

資料2−2 大会申込書兼記録票(記録カード)
平成23年 8月制定。 平成26年 3月改訂。
平成30年12月改訂。平成31年 2月改訂。
令和元年 8月改訂。

第〇〇回 全日本ベンチプレス選手権大会
参加申込書 兼 記録票

・予め太枠内及び誓約書欄に記入し、捺印の上、申込んで下さい。

No.	申込階級	氏　名（ふりがな）	ＩＤナンバー	性 別	生年月日（西暦）
	kg級	（　　）		□ 男子 □ 女子	年　月　日 カレンダーイヤー 歳

参加区分（○をつける）	□一般	□マスターズⅠ	□マⅡ	□マⅢ	□マⅣ	□ジュニア	□サブジュニア

検量	セッション	コート	都道府県	所属クラブ・団体
kg		A　B		

本大会への意気込み、キャッチフレーズ等	日本記録挑戦の予定
	□あり　□なし

ラックの高さ	セーフティバー高さ	足　台	センター補助
cm	cm（　個目）	□必要　□不要	□必要　□不要

	第１試技	第２試技	第３試技	ベスト	フォーミュラ
ベンチプレス	kg	kg	kg	kg	
変 更	kg	第３試技変更 1	kg		
		第３試技変更 2	kg	順　位	位

※会場で検量時、再確認のため第1試技の重量を申告すること。

標準記録達成：　年　月　日　記録：　kg	自己ベスト記録
大会名：　選手権大会	kg

国際大会参加希望（カテゴリーは記入。該当するものに○をつける）

世 界 大 会：カテゴリー＜　＞　□参加希望　□不参加　□検討中
アジア大会：カテゴリー＜　＞　□参加希望　□不参加　□検討中

大会会場での再確認	□参加希望　□不参加

※参加申込時に国際大会参加希望欄に「○」をつけなかった場合、参加希望がないものとします。

誓 約 書

（公社）日本パワーリフティング協会　御中
〇〇都道府県パワーリフティング協会　御中

年　月　日

・本大会の参加に際して、開催期間中に発生した事故やトラブルに関しては、参加者本人が自らの責任において解決するものとし、大会主催者及び主管協会に一切のご迷惑をおかけ致しません。又、将来にわたって一切の請求をしないことを誓約します。
・本大会の参加者本人を含む会場風景や競技中の写真を、ＪＰＡが作成する各種のＰＲ用ポスター、ＪＰＡが主催する大会案内用ポスター、ＪＰＡのホームページへの掲載等、ＪＰＡの事業活動のために利用されることについて、了承します。
・日本アンチ・ドーピング機構が定めるアンチ・ドーピング規程及び関係規則類並びにＪＰＡのドーピング防止規程を遵守します。

□同封の受講証明書のとおりアンチ・ドーピングに関する講習会受講済み。　□本大会時、会場で受講予定。

住　所 〒
ＴＥＬ　　ＦＡＸ
氏　名　　㊞　　Ｅ−ｍａｉｌ：

※セコンド担当（最大２名まで。付けなくても構わないし、大会当日でも良いが、事前届け出に協力願います）

氏　名	①	②

資料３　クラブ対抗団体戦得点表
＜平成２３年８月改訂＞＜平成２５年４月改訂＞
＜平成２６年３月改訂＞＜令和　元年８月改訂＞

第　　回全日本＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿選手権大会
クラブ対抗団体戦参加申込書（○/○締切）兼集計票

○○都道府県パワーリフティング協会　御中

下記の通り、クラブ対抗団体戦（３名以上）に参加申し込みします。

団体名		ＩＤ番号	
責任者		Ｅ－mail	
電　話	固定：　　携帯：		
住　所			

男　子（　　名）

階 級 Kg	選手氏名	カテゴリー	順　位	点　数
			得点合計	
			総合順位	

※太線内は漏れなく記入して下さい。
※各階級内のカテゴリー毎の順位で計算する。
※１団体上位５名まで、同一階級は２名までが得点の対象となる。

女　子（　　名）

階 級 Kg	選手氏名	カテゴリー	順　位	点　数
			得点合計	
			総合順位	

※太線内は漏れなく記入して下さい。
※各階級内のカテゴリー毎の順位で計算する。
※１団体上位５名まで、同一階級は２名までが得点の対象となる。

クラブ対抗・都道府県対抗一般団体戦得点

順位	１位	２位	３位	４位	５位	６位	７位	８位	９位	１０位以下
点数	１２	９	８	７	６	５	４	３	２	１

一般大会にダブルエントリーの場合、サブジュニア、ジュニア、マスターズ部門の団体戦得点

順位	１位	２位	３位	４位	５位	６位	７位	８位以下
点数	８	７	６	５	４	３	２	１

※参加選手の数が多くて書ききれない場合は、この用紙をコピーして使用のこと。

資料４　都道府県対抗団体戦得点表
＜平成２３年８月改訂＞

都道府県対抗団体戦得点表（１チーム３名以上）

＜クラブ対抗戦は、この表をクラブに変更して使用して下さい＞

団体チーム名		東京都	神奈川県														鹿児島県
参加選手数（人）																	
得点	１位＝１２点																
	２位＝　９点																
	３位＝　８点																
	４位＝　７点																
	５位＝　６点																
	６位＝　５点																
	７位＝　４点																
	８位＝　３点																
	９位＝　２点																
	１０位以下＝１点																
団　体　得　点																	
順　　位																	

※各団体の得点上位５名の選手のみ（同一階級は２名まで）の得点を団体の得点とする。
※団体は〇〇位まで表彰する。
※団体得点が同じの場合、上位順位の選手が多い団体を上位とする。

資料５　公式競技会認定申請書
＜平成２５年４月改訂＞
＜平成２６年３月改訂＞
＜平成２８年４月改訂＞

公式競技会認定申請書

（公社）日本パワーリフティング協会　技術委員会　御中

※□の部分には、○をつけるか、☑を付けて下さい。

競技会名称	第　　回
	□フルギア競技　　□ノーギア競技
期　　日	年　月　日（　）～　月　日（　）
競技会場名	
住　　所	〒
	TEL
主催協会名	
主管協会名	
競技階級 該当しない階級は削除して下さい。	男子：５３、５９、６６、７４、８３、９３、１０５、１２０kg、１２０kg超級
	女子：４３、４７、５２、５７、６３、６９、７６、８４、８４kg超級
競技会責任者名	役職名
使用バーベル名	□ウエサカ　□イバンコ　□エレイコ　□ザオバ（ＢＵＬＬ）
安全対策	□ベンチプレス台にセーフティバーがセットされている。 □傷害保険に加入する（大会結果とともに契約保険証券のコピーを送付する）。
検量器メーカー	□＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　□　年　月　日 検定済
※日本記録表及び日本記録公認申請書は、ＪＰＡホームページ上よりダウンロードして使用して下さい。	

★全日本大会は開催日の３ヶ月前、ブロック大会・地方大会は２ヶ月前に申請して下さい。

★公認審判員とその他所定の競技委員を置き、ＪＰＡ競技規則に基づいて、かつ、下記の規程、マニュアル、ガイドライン等に準拠して、上記のとおり競技会を開催したく、申請致します。

①全日本大会開催マニュアル（本文及び資料編）
②ブロック大会、地方大会等の開催マニュアル
③開閉会式 式典規程
④大会会場における不慮の事故対応に関するガイドライン
⑤不慮の事故防止に向けた運用事項
※いずれも、ＪＰＡホームページで確認できます。

★別紙のとおり、開催要項を添付しております。

年　　月　　日

公印

＿＿＿＿＿＿パワーリフティング協会

＿＿＿＿＿＿実業団・学生・高校パワーリフティング連盟

大会実行委員長＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

ＴＥＬ：

★試技カードは、下記の書式を主管協会で作成するか、３種目兼用のＪＰＡ技術委員会が指定する書式の試技カードを技術委員会から購入して使用すること。

資料６　試技カード
＜平成２５年４月改訂＞
＜平成２６年３月改訂＞

◇３種目パワーリフティング用

スクワット

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

第1試技	第2試技	第3試技

サイン＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ベンチプレス

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

第1試技	第2試技	第3試技

サイン＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

必要枚数
・スクワット　：　３枚
・ベンチプレス：　３枚
・デッドリフト：　５枚

デッドリフト

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

第1試技	第2試技	第3試技

重量変更	重量変更

サイン＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

◇ベンチプレス単独大会用

ベンチプレス

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

第1試技	第2試技	第3試技

重量変更	重量変更

サイン＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

必要枚数
・ベンチプレス：５枚

第____回全日本_____パワーリフティング選手権大会
大会スケジュール<記載例>

会場_____

☆第１日目（_____月_____日）

第１セッション	_____ｋｇ級（　　名） _____ｋｇ級（　　名） _____ｋｇ級（　　名）	検量　　８：３０～１０：００ 競技開始　１０：３０～
開　会　式		１３：００～
第２セッション	_____ｋｇ級（　　名） _____ｋｇ級（　　名） _____ｋｇ級（　　名）	検量　　１３：００～１４：００ 競技開始　１４：３０～
第３セッション	_____ｋｇ級（　　名） _____ｋｇ級（　　名） _____ｋｇ級（　　名）	検量　　１５：００～１６：３０ 競技開始　１７：００～

☆第２日目（_____月_____日）

第４セッション	_____ｋｇ級（　　名） _____ｋｇ級（　　名） _____ｋｇ級（　　名）	検量　　８：３０～１０：００ 競技開始　１０：３０～
第５セッション	_____ｋｇ級（　　名） _____ｋｇ級（　　名） _____ｋｇ級（　　名）	検量　　１１：００～１２：３０ 競技開始　１３：００～
第６セッション	_____ｋｇ級（　　名） _____ｋｇ級（　　名） _____ｋｇ級（　　名）	検量　　１３：３０～１５：００ 競技開始　１５：３０～

※コスチュームチェックは検量時と同時刻に実施する。

資料８　陪審員･審判員構成表
＜平成２５年４月改訂＞

審判員構成早見表

第　回　全日本ベンチプレス選手権大会

年　月　日(　)　　会場：〇〇市総合体育センター

※実務に就く際は、ＪＰＡ競技ルールに則った服装を厳守して下さい。規定から見て著しく外れる場合は交代していただきます。
※試技開始前に陪審員席にてルールクリニックを実施します（実務予定者受講必須）。
　９：００：〇セッションの競技開始１５分前までに、指定された場所に集合して下さい。
※セッション内グループ間の交代はありません。最後まで実務に就いて下さい。
※検量は、担当セッション責任者のみ記載しております。手の空いている方はお手伝い願います。
※コスチュームチェックは、担当セッション以外の選手も実施可能ですが、担当時間内の選手を優先して下さい。
※この構成表は、都合により直前に変更される場合がありますので、当日再度ご確認下さい。

≪凡例≫

ｃ：主審　ｗ：検量担当　　陪審員　レフリー　不可
ｅ：コスチュームチェック担当　　TC：テクニカルコントローラー　３級

			各セッション						備考
氏 名	所 属	級	1	2	3	4	5	6	
			1	2	3	4	5	6	

≪タイムテーブル・セッション分け≫

セッション	検量時間	グループ	階　級	競技開始	選手数
1					
2					

※表彰式：

3					
4					

※表彰式：

1					
2					

※閉会式：

★本構成表はＪＰＡ技術員会が作成する。書式等はこのひな形に関わらず、技術委員会において適宜変更可能とする。

資料９　大会スタッフ構成表
＜平成２３年８月制定＞

大会スタッフ構成表（競技スタッフ）

陪審員・審判員構成表は資料８に示す様にＪＰＡ技術委員会が作成するので、主管協会はこれ以外の大会スタッフを下表のように構成して運営する。

※下表はコート１面のスタッフを例に示す（２面の場合は２倍のスタッフが必要)。

		第１日目			第２日目		
		第１ｾｯｼｮﾝ	第２ｾｯｼｮﾝ	第３ｾｯｼｮﾝ	第４ｾｯｼｮﾝ	第５ｾｯｼｮﾝ	第６ｾｯｼｮﾝ
競技開始		10：:30～	14：30～	17：00～	10：:30～	13：00～	15：30～
階　　級							
進行席	放送係（２名）	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
	記録係（２名）	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
	重量受付（２名）	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
試技順掲示係（２名）		氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
重量表示係（２名）		氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
時　計　係（２名）		氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
記録ボード又は壁面用紙への記入係（２名）		氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
補助係 ・スクワット（５名） ・ベンチプレス（５名） ・デッドリフト（３名）		氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名

※各係は交代要員を含む。

※パソコンによる「グッドリフトシステム」を使用して試技重量、ラウンド等を表示する場合は、パソコン担当（２名程度）を別に置いて、それぞれ該当する係を割愛することができる。

２面分の器具搬入分担表<愛知県協会の例>

大会器材	数量	所有者	分　担　団　体								
			ＰＦ	ＰＬ	愛三	蒲郡	ＭＢＣ	ブラザー	デンソー	小長野	トヨタ
試技場ラック	1	協会	○								
試技場ラック	1	協会		○							
アップ用一体式ラック	1	協会							○		
アップ用ＳＱラック	1	愛三			○						
アップ用ＢＰラック	1	協会	○								
試技場公式シャフト	1	協会	○								
試技場公式シャフト	1	蒲郡				○					
アップ用シャフト	1	ＰＬ		○							
アップ用シャフト	1	ＰＦ	○								
公式プレート 25Kg	8	協会	○								
公式プレート 25Kg	2	蒲郡				○					
公式プレート 20Kg	6	協会	○								
公式プレート 20Kg	2	蒲郡				○					
公式プレート 15Kg	2	協会	○								
公式プレート 15Kg	2	蒲郡				○					
公式プレート 10Kg	2	協会	○								
公式プレート 10Kg	2	蒲郡				○					
公式プレート 5Kg	2	協会	○								
公式プレート 5Kg	2	蒲郡				○					
公式プレート 2.5Kg	2	協会	○								
公式プレート 2.5Kg	2	蒲郡				○					
公式プレート 1.25Kg	2	協会	○								
公式プレート 1.25Kg	2	蒲郡				○					
公式プレート記録用	6	協会	○								
公式カラー	2	協会	○								
公式カラー	2	ＰＬ		○							

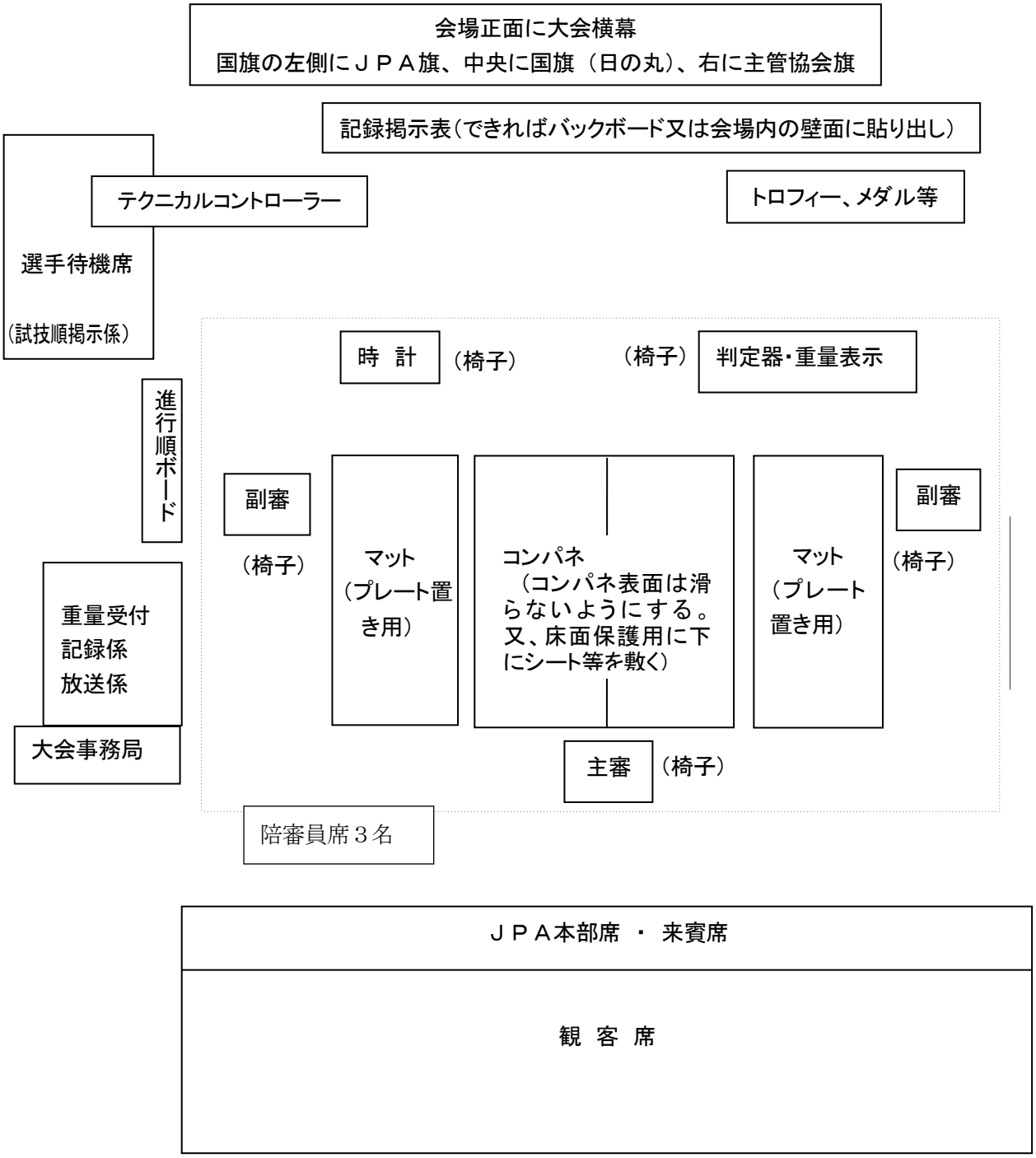
２面分の器具搬入分担表<愛知県協会の例>

大会器材	数量	所有者	分　担　団　体								
			A	B	C	D	E	F	G	H	K
アッププレート 25Kg(ゴム)	2	ＭＢＣ					○				
アッププレート 20Kg(ゴム)	2	ＰＬ		○							
アッププレート 20Kg(ゴム)	4	ＭＢＣ					○				
アッププレート 15Kg(ゴム)	2	ＭＢＣ					○				
アッププレート 15Kg(ゴム)	2	ＰＬ		○							
アッププレート 15Kg	2	協会	○								
アッププレート 10Kg(ゴム)	2	ＰＬ		○							
アッププレート 10Kg(ゴム)	2	ＭＢＣ					○				
アッププレート 5Kg	4	愛三			○						
アッププレート 2.5Kg	2	愛三			○						
アッププレート 1.25Kg	2	愛三			○						
アップ用カラー	4	ＰＦ	○								
デッド用テコ	2	協会	○						○		
判定機（時計・重量掲示付)	2	協会							○		
判定機（ナンバー)	1	ＰＬ		○							
コンパネ試技場	4	協会	○								
コンパネ薄板	12	協会							○		
コンパネ薄板	8	協会	○								
ブルーシート	全部	協会			○						
試技場用ゴム	4	協会	○								
試技場マット(アップ゜場へ)	6	協会	○								
試技場用人工芝マット	2	協会							○		
アップ場マット	4	協会	○								
試技場サイド･ゴム	全部	名倉									○
足台	2	協会							○		
表彰台	1	協会						○			
検量器	2	協会								○	
放送器具	2	協会								○	

資料１１　大会会場レイアウト図
＜平成２０年　４月改訂＞
＜平成２２年１２月改訂＞
＜平成２８年　４月改訂＞

大会会場レイアウト図

１面コート例を示す（２面の時は横隣に同様に設置する）。
会場の大きさ等の状況に応じてレイアウトを設定。



・検量は別室にて行うこと。会場内では検量を禁止する。
・コスチュームチェックは会場内又は別室のどちらかで実施。
・ウォーミングアップ場は会場内又は別室のどちらかに設置。
・受付は会場出入り口付近に設置するのがベター。その他の配置は会場スペースを考慮して決める。

コスチュームチェック表

大会名　：

セッション　：

クラス	氏　名	所属	ｽｰﾊﾟｰｽｰﾂ	ツリ パン	ﾍﾞﾝﾁｼｬﾂ	Ｔシャツ	ベルト	靴	ニーラップ	リストラップ	その他

審判員

審判員

審判員

資料１２　コスチュームチェック表

資料13－1 アナウンスマニュアル
＜平成１８年　２月改訂＞
＜平成１９年　４月改訂＞
＜平成１９年１０月改訂＞
＜平成２４年　２月改訂＞
＜平成２８年　４月改訂＞

アナウンスマニュアル

このマニュアルは、競技進行の基本的なひな形を示すもので、運用に際しては選手の試技を盛り上げるための応用メニューを考慮して進めるとよい（アナウンスの部分は『　』で示した）。

第１種目【スクワット】

１　競技開始までの時間通告

『只今、競技開始１０分前です。⇒只今、競技開始３分前です。ここで、第１試技の重量変更を締切ります』

※競技開始１０秒前程度の時点で、最初の選手の準備を確認した上で、競技をスタートさせる。

２　審判・陪審員・テクニカルコントローラーの紹介

①『只今より、○○面にて、＜男子＞又は＜女子＞○○Ｋｇ級のスクワット競技を開始します。まず、陪審員を紹介します。○○陪審員、○○陪審員、○○陪審員』

②『次に、審判員を紹介します。主審○○審判員、副審○○審判員、副審○○審判員。以上の皆様です。又、テクニカルコントローラーは○○審判員です。よろしくお願いします』

※『主審、○○先生』という言い方はしない。

３　競技中

①『重量○○Ｋｇ、ラック高さ○○㎝、セーフティバー高さ○○にして下さい』

②主審は、ステージの準備が完了したときに、挙手とともに『バーズローデッド』と合図する。

③放送係は主審の合図を聞いて、『バーズローデッド。○○選手。○○県。○○所属、重量○○Ｋｇ。第１回目の試技です』と言い、その他、選手に関する情報を適宜アナウンスする。

④時計係は、放送係の『バーイズローデッド』の声を聞いて時計をスタートする。

⑤選手の試技後、審判の判定結果をアナウンスする。

『成功しました』又は『惜しくも、失敗です』

⑥続いてアナウンスする。

『増量をお願いします。重量○○Ｋｇにして下さい。ラック高さ○○㎝』又は『重量、同重量、ラック高さ○○㎝』

※第１ラウンドの最後の選手まで①・・・⑥を繰り返す。

⑦第１ラウンドの最終選手の試技が終了したら、『これで第１ラウンドを終了します』又は『第１ラウンドが終了しました』

⑧『引き続いて、第２ラウンドを開始します。重量は○○Ｋｇにして下さい。』

※①・・・⑥を繰り返す。

⑨第２ラウンドの最終選手の試技が終了したら、『これで第２ラウンドを終了します』又は『第２ラウンドが終了しました』

⑩『引き続いて、第３ラウンドを開始します。重量は○○Ｋｇにして下さい』

※①・・・⑥を繰り返す。

⑪第３ラウンドの最終選手の試技が終了したら、

『これをもちまして、○○面にて＜男子＞又は＜女子＞○○Ｋｇ級のスクワット競技を終了致します。尚、ベンチプレス競技は○○分より開始します』

資料13－2 アナウンスマニュアル2
＜平成１８年　２月改訂＞
＜平成１９年　４月改訂＞
＜平成１９年１０月改訂＞
＜平成２４年　２月改訂＞
＜平成２８年　４月改訂＞

第２種目【ベンチプレス】

1　競技開始までの時間通告

『只今、競技開始１０分前です。⇒只今、競技開始３分前です。ここで、第１試技の重量変更を締切ります』

※競技開始１０秒前時点で、最初の選手の準備を確認した上で、競技をスタートさせる。

2　審判・陪審員・テクニカルコントローラーの紹介

①『只今より、○○面にて、＜男子＞又は＜女子＞○○Ｋｇ級のベンチプレス競技を開始します。まず、○○面の陪審員を紹介します。○○陪審員、○○陪審員、○○陪審員』

②『次に、審判員を紹介します。主審○○審判員、副審○○審判員、副審○○審判員。以上の皆様です。又、テクニカルコントローラーは○○審判員です。よろしくお願いします』

※『主審、○○先生』という言い方はしない。

3　競技中

①『重量○○Ｋｇ、ラック高さ○○㎝、セーフティバー高さ○○にして下さい』

※足台が必要な選手に対しては⇒『足台をお願いします』

②主審は、ステージの準備が完了したときに、挙手とともに『バーズローデッド』と合図する。

③放送係は主審の合図を聞いて、『バーイズローデッド。○○選手。○○県。○○所属、重量○○Ｋｇ。第１回目の試技です』と言い、その他、選手に関する情報を適宜アナウンスする。

④時計係は、放送係の『バーズローデッド』の声を聞いて時計をスタートする。

⑤選手の試技後、審判の判定結果をアナウンスする。

『成功しました』又は『惜しくも、失敗です』

⑥続いてアナウンスする。

『増量をお願いします。重量○○Ｋｇにして下さい。ラック高さ○○㎝』又は『重量、同重量、ラック高さ○○㎝』

その他、『足台は・・(いる、いらない)・・』、『センター補助とサイドの補助は・・(いる、いらない)・・』

※第１ラウンドの最後の選手まで①・・・⑥を繰り返す。

⑦第１ラウンドの最終選手の試技が終了したら、『これで第１ラウンドを終了します』又は『第１ラウンドが終了しました』

⑧『引き続いて、第２ラウンドを開始します。重量は○○Ｋｇにして下さい』

※①・・・⑥を繰り返す。

⑨第２ラウンドの最終選手の試技が終了したら、『これで第２ラウンドを終了します』又は『第２ラウンドが終了しました』

⑩『引き続いて、第３ラウンドを開始します。重量は○○Ｋｇにして下さい』

※①・・・⑥を繰り返す。

⑪第３ラウンドの最終選手の試技が終了したら、

『これをもちまして、○○面にて、＜男子＞又は＜女子＞○○Ｋｇ級のベンチプレス競技を終了致します。尚、デッドリフト競技は○○分より開始します』

資料13－3 アナウンスマニュアル3
＜平成１８年　２月改訂＞
＜平成１９年　４月改訂＞
＜平成１９年１０月改訂＞
＜平成２４年　２月改訂＞
＜平成２８年　４月改訂＞

第３種目【デッドリフト】

１　競技開始までの時間通告

『只今、競技開始１０分前です。⇒只今、競技開始３分前です。ここで、第１試技の重量変更を締切ります』

※競技開始１０秒前時点で、最初の選手の準備を確認した上で、競技をスタートさせる。

２　審判・陪審員・テクニカルコントローラーの紹介

①『只今より、○○面にて、＜男子＞又は＜女子＞○○Ｋｇ級のデッドリフト競技を開始します。まず、○○面の陪審員を紹介します。○○陪審員、○○陪審員、○○陪審員』

②『次に、審判員を紹介します。主審○○審判員、副審○○審判員、副審○○審判員。以上の皆様です。又、テクニカルコントローラーは○○審判員です。よろしくお願いします』

※『主審、○○先生』という言い方はしない。

３　競技開始

①『重量を○○Ｋｇにして下さい』

②主審は、ステージの準備が完了したときに、挙手とともに『バーイズローデッド』と合図する。

③放送係は主審の合図を聞いて、『バーイズローデッド。○○選手。○○県。○○所属、重量○○Ｋｇ。第１回目の試技です』と言い、その他、選手に関する情報を適宜アナウンスする。

④時計係は、放送係の『バーイズローデッド』の声を聞いて時計をスタートする。

⑤選手の試技後、審判の判定結果をアナウンスする。

『成功しました』又は『惜しくも、失敗です』

⑥続いてアナウンスする。

『増量をお願いします。重量は○○Ｋｇになります』又は『重量、同重量、ラック高さ○○ｃｍ』

※第１ラウンドの最後の選手まで①・・・⑥を繰り返す。

⑦第１ラウンドの最終選手の試技が終了したら、『これで第１ラウンドを終了します』又は『第１ラウンドが終了しました』

⑧『引き続いて、第２ラウンドを開始します。重量は○○Ｋｇにして下さい』

※①・・・⑥を繰り返す。

⑨第２ラウンドの最終選手の試技が終了したら、『これで第２ラウンドを終了します』又は『第２ラウンドが終了しました』

⑩『引き続いて、第３ラウンドを開始します。重量は○○Ｋｇにして下さい』

※①・・・⑥を繰り返す。

⑪第３ラウンドの最終選手の試技が終了したら、

『これをもちまして、○○面にて、＜男子＞又は＜女子＞○○Ｋｇ級の競技が全て終了しました』

全ての階級の競技が終了したら、例えば、次のように表彰式と閉会式の案内をする。

『本日、これで全ての競技が終了しました。会場の皆様のご声援に感謝します。表彰式及び閉会式は、機材の後片付け終了後、実施します。しばらくお待ち下さい。関係者の皆様、ご協力の程お願いします』

資料１４　競技までのフロー
＜平成２１年２月改訂＞
＜平成２６年３月改訂＞
＜平成２８年４月改訂＞

受付から競技までの概略フロー

①　受　付

≪ 係 ≫・「大会プログラム」、「試技カード」、「大会会場での注意喚起文書」等の競技に必要な資料を選手に渡し、大会プログラム等を利用した出欠管理台帳（又は受付簿）に選手の参加、棄権、欠場の状況を記入する。

※「参加申込書兼記録票」を受付で選手に渡さない。検量の場で渡す。受付係は必ずその旨選手に伝えること。

≪選手≫・「大会プログラム」、「試技カード」、「大会会場での注意喚起文書」等を受取る。

②　ラック高さ測定

≪選手≫・スクワットとベンチのラック高さを確認し、ベンチにおける足台や補助の有無等を「参加申込書兼記録票」に記入する。

③　検　量

≪選手≫・ロット番号順に検量室に入り、検量する。検量後、「参加申込書兼記録票」を受け取る。

・「参加申込書兼記録票」に必要事項及び第１試技重量を記入する。

≪ 係 ≫・検量係はラック高さ、センター補助有無、第１試技重量等を聞き取り、「参加申込書兼記録票」に（必要により大会記録表原本にも）体重と併せて必要項目を記入する。

・「参加申込書兼記録票」に記入漏れがないか確認して、選手に「参加申込書兼記録票」を渡す。

④　コスチュームチェック

≪選手≫・使用するコスチュームと「参加申込書兼記録票」を係に提出する。

≪ 係 ≫・コスチュームチェック表に、提出されたコスチューム内容を全て記録する。

・検査の結果、合格であればコスチュームに合格印を押す。

・コスチュームチェック表に検査内容を記入する。

・全選手のコスチュームチェック後、このチェック表と「参加申込書兼記録票」を大会事務局に渡す。

※大会事務局は「参加申込書兼記録票」を記録係に速やかに渡す。又、コスチュームチェック表を競技の進行状況に合わせて陪審員に渡す（陪審員席に置く）。

⑤　ウォーミングアップ

≪選手≫・実際の競技開始時刻を確認し、スクワットのウォーミングアップを行う。

※ウォーミングアップ場所が、競技場内にある場合、開会式の間はウォーミングアップを中止する旨、アナウンスすること。

⑥　競技開始

≪選手≫・第１試技の重量を変更する場合は、「試技カード」に変更重量を記入して、競技開始３分前までに放送席に提出する。

・競技中、試技終了後１分以内に、次回の試技重量を「試技カード」に記入して放送席に提出する。選手のセコンドが提出してもよい。

資料１５　開閉会式式典要領
＜平成２１年２月改訂＞
＜平成２８年４月改訂＞
＜令和　元年８月改訂＞

開閉会式 式典要領

１　基本趣旨

全国的競技大会の式典の内容と順序は、本協会の「開閉会式 式典規程」の定めるところによるものとし、概ね次のとおりとする。又、地方における競技会の開閉会式についても、この式典要領を参考とすることが望ましい。

２　式典順序

２．１　開　会　式

（１）開式通告（司会者）

（２）役員・選手入場・整列（司会者）

※必要であれば、入場行進をしてもよい。その場合、整列と行進の順序を明確にし、退場時も同様に行進することとする。

※整列はブロック単位でまとめる。足元にブロック表示パネルを置くと良い。

※正面に国旗、協会旗を掲揚する場合、役員は、絶対に国旗に尻を向けて整列してはならない。

（３）開会宣言（大会委員長）

（４）国旗掲揚と君が代斉唱（全員）

※国旗を予め掲揚している場合は、司会者は「国旗に向かって一礼」と号令し、君が代を斉唱。

（５）優勝杯（旗）返還及びレプリカ贈呈

（６）挨拶（大会会長）

（７）祝辞（開催地の来賓）

（８）歓迎のことば（開催地関係者）

（９）選手宣誓（国体参加の場合、個別競技の開始式では行わない）

(10) 閉式通告（司会者）

※司会者は「国旗に向かって礼」と号令し、「一礼」の後は、「お直り下さい」、「これにて解散します」とアナウンスし、全員解散とする。

(11) 役員・選手退場（司会者）

２．２　閉　会　式

（１）開式通告（司会者）

（２）役員・選手入場（司会者）

（３）成績発表（事務局）

（４）表彰（大会会長）

（５）挨拶（大会会長）

（６）歓送のことば（開催地関係者）

（７）国旗降納（開会式で掲揚した場合）

（８）閉式宣言（大会委員長）

（９）閉式通告（司会者）

※国旗の降納がない場合、司会者は「国旗に向かって礼」と号令し、「一礼」の後は、「お直り下さい」、「これにて解散します」とアナウンスし、全員解散とする。

(10)　役員・選手退場（司会者）

３　留意事項

・国旗は、基本的に会場の正面に掲揚する。

・正面の国旗に背（尻）を向けて整列しない方法として、来賓（主賓）と主催協会、主管協会役員とが「ハ」の字状に向い合せになることにより、不敬を避けることができる。

・全日本大会においては、競技上の注意事項の説明をする必要はない。

大会記録公式報告用紙

※下表はベンチプレス競技の記録報告用紙のひな形です。実際に使用する時は、ＪＰＡ－ＨＰからエクセル版をダウンロードし、パソコンでの作業が効率的です。公式記録用紙はパワー、ベンチともダウンロードできます。

大会日：　　年　　月　　日（　　）　　会 場：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□フルギア競技　□ノーギア競技

№.	階 級	氏　　名	所　　属	年齢	検　量	ＢＰ１	ＢＰ２	ＢＰ３	ベスト	順位

年　　月　　日

以上報告いたします。

申請協会名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿協会

理 事 長 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印（必ず印を押す）

資料17　日本記録公認申請書
＜平成２４年３月改訂＞
＜平成２６年３月改訂＞
＜平成２８年４月改訂＞

≪日本記録公認申請書≫

⇒これはＪＰＡ主催の全日本大会用ひな形です。正式の申請書は、ＪＰＡ-ＨＰからダウンロードして下さい。

競技種別	□パワーリフティング □シングルベンチプレス	コート/セッション －グループ	/ －
競技会名	第　　回　全日本○○パワーリフティング選手権大会		
主管協会名	パワーリフティング協会		
樹立年月日	年　　月　　日（　）	開催地	
競技者名	男 ・ 女	生年月日	西暦　　年 最高齢のみ記載　　月　　日（　　歳）
競技者の住所等	〒　　電話番号 住所：		
所　　属			
階　　級	kg級	検量体重	kg

【更新記録】

□フルギア競技 □ノーギア競技	更新カテゴリー（種目ごとに、該当箇所全てに✔を記入のこと）								
	一般	高校	サブジュニア	ジュニア	Ｍ１	Ｍ２	Ｍ３	Ｍ４	最高齢
★スクワット＿＿＿＿kg									
★ベンチプレス＿＿＿＿kg									
★デッドリフト＿＿＿＿kg									
★トータル＿＿＿＿kg									
□ ★シングルベンチプレス＿＿＿＿kg									

※ パワーリフティング（３種競技）時のベンチプレス種目と同時更新は、上記 □に✔（チェックマーク）を記入のこと（この場合、記録の記入は不要。但し、更新したカテゴリーは必ず✔を記入のこと）。

【判定公認審判員】３人とも２級以上であること。トータルの場合は３級でもよい。この場合、種目ごとの審判員全員（計９名）の署名が必要。

＜署　名＞

スクワット	ベンチプレス	デッドリフト
主審　　級	主審　　級	主審　　級
副審　　級	副審　　級	副審　　級
副審　　級	副審　　級	副審　　級

（公社）日本パワーリフティング協会　技術委員会　御中

上記のとおり申請します。

年　　月　　日

申請協会名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿協会

理 事 長 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印（必ず印を押す）

資料18　陪審員･審判員協力依頼書
＜平成２１年３月制定＞
＜平成２５年４月改訂＞
＜令和　元年８月改訂＞

ひな形

〇〇年〇〇月吉日

審判有資格者　各位

公益社団法人 日本パワーリフティング協会
技術委員長　〇〇　〇〇

第〇〇回 全日本パワーリフティング選手権大会
陪審員・審判員のご協力のお願いについて

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、パワーリフティング競技へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、ご案内のとおり、ＪＰＡが主催する標記の大会が〇〇〇年〇月〇日に〇〇県協会の主管により開催されます。
ついては、標記大会の陪審員・審判員を募集しますので、何かとご多忙のこととは存じますが、各位のご協力をお願い致します。なお、主管協会のブロックにおける各協会所属の審判員の方には、積極的なご協力をいただきますようお願い致します。
ご協力をいただける審判員の方は、お手数ですが、下記に必要事項をご記入いただいた上、この書面のまま、〇〇年〇月〇日（〇）までに、郵送、ＦＡＸ又はＥ－ｍａｉｌ にて、大会主管協会あてに送付して下さい。ご協力いただく方には、お弁当、手当（３，０００円）が支給されます。
送付先はＪＰＡ技術委員長あてではありませんので、ご注意願います。
尚、ＪＰＡホームページの大会関連情報において掲載される本大会の開催要項とともに、「陪審員・審判員申込」の入力フォームを設けますので、オンライン手続きでの申し込みも可能です。

敬具

第〇〇回全日本パワーリフティング選手権大会陪審員・審判員申込書

〇〇年〇月〇〇日

〒＿＿＿－＿＿＿＿
〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇番地〇号
大会主管都道府県協会　〇〇　〇〇　様
℡：　０００－１２３－４５６７（ＦＡＸ兼用）
Ｅ－ｍａｉｌ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿都道府県パワーリフティング協会

下記のとおり、協力者について連絡します。

ご　氏　名	ＩＤナンバー	級	〇月〇日	〇月〇日	ご連絡先電話番号及びＥ－mail
		□国内　　級 □国際　　級	□午前 □午後	□午前 □午後	
		□国内　　級 □国際　　級	□午前 □午後	□午前 □午後	
		□国内　　級 □国際　　級	□午前 □午後	□午前 □午後	

★セコンドに付かれる場合は、該当階級から外しますので、下記に記入して下さい。
□男子　　kg 級　　kg 級　　kg 級
□女子　　kg 級　　kg 級　　kg 級

資料19　健康対策について
＜平成２３年８月制定＞
＜平成２５年４月改訂＞

健 康 対 策 に つ い て

公益社団法人　日本パワーリフティング協会
スポーツ医科学委員会

参加申込みに際しては、下記の健康チェックリストにより、各自で事前に健康チェックをして下さい。当てはまる項目があれば、かかりつけ医に相談し、自己の責任において必要な対応を行って下さい。

大会に参加する場合、健康管理には万全を期して、自己責任で参加申込みをしていただきますようお願いします。

全日本＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿選手権大会
参加申込み時　事前健康チェック

A　下記の項目（１～４）のうち、１つでも当てはまる項目があれば、大会参加の可否について、かかりつけ医によく相談して下さい。場合によっては、かかりつけ医のもとで、健康診断や心臓検診を受けて下さい。

□１．心臓病（心筋梗塞、狭心症、心筋症、弁膜症、不整脈など）の診断を受けている、又は、治療中である。
□２．突然、気を失ったこと（失神発作）がある。
□３．血縁者に、いわゆる“心臓マヒ”で突然亡くなった方がある。(突然死)
□４．最近１年以上、健康診断を受けていない。

B　下記の項目（５～８）は、心筋梗塞や狭心症になりやすい危険因子です。あてはまる項目があれば、かかりつけ医に相談し、大会参加前までに状態を安定させて下さい。

□５．血圧が高い（高血圧)。
□６．血糖値が高い（糖尿病)。
□７．コレステロールや中性脂肪が高い（高脂血症)。
□８．たばこを吸っている（喫煙)。

※かかりつけ医とは、皆さんの健康や体調を管理して下さっている身近なドクターです。
※かかりつけ医をきちんと決めて、各種の検査の要否や大会参加の可否について相談しましょう。

以上

資料20　安全に関する注意事項
＜平成２３年８月制定＞
＜平成２４年２月改訂＞
＜平成２５年４月改訂＞

安全に関する注意事項

公益社団法人　日本パワーリフティング協会

パワーリフティング競技は極限の重量を扱うため、大怪我をする等の不測の事態が発生する危険があります。選手、役員、スタッフ等の大会関係者全員は、このことを十分に理解した上で安全確保に努めるとともに、競技会場及びウォーミングアップ場においては、下記に例示する注意事項を遵守して大会に臨むようお願いします。

≪選手の注意事項≫

①カラー未装着が原因で落下したプレートによる怪我
　⇒ウォームアップの場合も、必ずカラーを取付けて実施すること。
②スーツ類の破れによる怪我
　⇒スーツ類の劣化や縫い目等について、自己チェックを徹底すること。
③スクワット及びベンチプレスのバーベル落下による怪我
　⇒選手は慎重にスタートポジションを取ること、シャフトをしっかり握ること。
　特に、スクワット時のバーベル落下は、選手ばかりか補助員も巻き込んだ大きな怪我につながるおそれがあるので、選手は試技途中で立ち上がれない場合でも、絶対に後ろへ投げ出さないこと。必ず肩に担いだままで、補助員の手助けを借りて立ち上がること。
④デッドリフトのフィニッシュ後半での怪我
　⇒ダウンの合図後に足先へプレートを落下させないよう、スタンスに注意すること。
⑤当日、体調不良による怪我
　⇒安全を優先して、棄権する勇気も必要です。

≪補助員の注意事項≫

①スクワット及びベンチプレスの挙上失敗に伴う怪我
　⇒外したプレート等は、つまずいたりしないように、足元近辺には絶対に置かないこと。又、常にバーベルの落下を想定して、選手の動きを見ながらしっかりと補助の構えを取ること。
　特に、ベンチプレスで万一の場合の補助動作では、プレート内側直近部分のシャフトを絶対に持たないこと。必ず、シャフトの中央部分やプレート外側部分又はプレート自体を持つこと。
②ベンチプレスのバーベル受け渡しの不手際による怪我
　⇒センター補助は、選手にバーベルを確実に受け渡しができるように、手を離す際には慎重に行うこと。
③デッドリフトの後方転倒に伴う怪我
　⇒センター補助は、選手と一緒に倒れることを避けるために、腰を落として補助の構えを取り、選手の動きをよく見ること。

≪その他の注意事項≫

①会場設営時や撤収時
　⇒プレート、ラック等の重量物運搬中に、手指、足、腰等に怪我をするおそれがあります。十分に注意して作業を行うこと。大会終了後は、疲れているので、慌てずに慎重に行うこと。
②見学、応援時
　⇒ウォーミングアップ場では、器具周辺から離れて見学し、足元に注意すること。
③会場内全体
　⇒大会会場に掲示されている施設利用上の注意事項、指示事項、禁止事項等に従うこと

以上

資料21　ドーピング防止のお知らせ
＜平成２８年　４月制定＞
＜平成３０年１２月改訂＞
＜令和　元年　８月改訂＞

ドーピング防止に関する大切なお知らせと注意点

令和元年７月
（公社）日本パワーリフティング協会
スポーツ医科学委員会
委員長　蜂須　貢

平成２７年度に続き、平成３０年度において又しても男子選手のドーピング陽性事例が発生し、誠に残念なことに、成績抹消、４年間の資格停止等の厳しい処分が決定しました。

現在、ＪＯＣ、(公財) 日本スポーツ協会、ＪＡＤＡ等の関係諸団体は、２０２０東京オリンピックに向け、「ＰＬＡＹ　ＴＲＵＥ」のスローガンの下で、アンチ・ドーピング活動を鋭意推進している中での事案発生であったため、ＪＰＡは大変に厳しい状況に置かれております。

ＪＰＡは、発足以来、アンチ・ドーピングの啓発・推進に努めてきましたが、新たに、アンチ・ドーピング規則違反者を出したことは極めて重大事と認識し、改めて、再発防止に真剣に取り組んで参ります。

アンチ・ドーピング規則違反は、選手本人のみならず、周囲の選手やＪＰＡの名誉を大きく傷つけ、社会的な信頼を失うことになります。今後、選手一人一人においても、ドーピングは犯罪であるとの認識を持ち、確信的ドーピングの根絶はもちろんのこと、「市販薬、医療用医薬品にドーピング禁止物質が含まれていることは稀ではない」と心得て、不注意によるうっかりドーピングも絶無にする心構えが必要です。

ついては、アンチ・ドーピング規則違反の根絶に向け、以下の４点を徹底していただくようお願い致します。

１．サプリメントの注意点

サプリメントには表示されていない禁止物質が混入されている可能性があります。禁止物質が混入されていないことを自主的に検査されているメーカーのサプリメントへの変更を推奨します。

２．医療用医薬品(処方薬)の注意点

医師の処方薬であっても禁止物質があります。受診時に「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」の最新版を提示し、医師とよく話し合いの上、処方薬を決定してもらって下さい。合理的な医学的根拠がある場合、ＴＵＥを申請し、承認されることにより禁止物質であっても使用可能となります。ＴＵＥが認められるのは、医師からの処方薬（漢方薬は除きます）のみですので、該当する方は医師と相談して、ＴＵＥの申請を検討して下さい。

３．薬局、ドラッグストアでの市販薬購入時の注意点

薬局には薬剤師、スポーツファーマシストが在籍しているので、相談をしながら購入をして下さい。ドラッグストア、薬店には薬剤師が不在の場合がありますので、「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」を持参し、使用可能な医薬品や商品名を間違えないように、番線の注意を払って購入して下さい。下記の成分は市販薬に含まれる禁止物質で引っかかり易い一例ですが、市販薬の禁止物質はこれだけではありません。

・かぜ薬、咳止め：メチルエフェドリン、プソイドエフェドリン、麻黄（全て競技会の時には使用禁止）
・胃腸薬：ストリキニーネ、ホミカ（全て競技会の時には使用禁止）
・育毛薬：メチルテストステロン、プロピオン酸テストステロン（常時、全て使用禁止）
・生薬、漢方薬：海狗腎、麝香、鹿茸（常時、全て使用禁止）
※生薬や漢方薬は、明らかな禁止物質が含まれていない場合でも、意図しない成分が混入している可能性があるため、他の治療薬を検討された方が良いでしょう。

４．使用する医薬品の検索、問い合わせについて

「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」の掲載場所は、日本薬剤師会のＵＲＬは、
「https://www.nichiyaku.or.jp/activities/anti-doping/about.html」。
「Global DRO」(https://www.globaldro.com/JP/search)

どちらも検索する手段としては有効ですが、万能ではありません。不明な点がある場合は必ず、都道府県の薬剤師会、スポーツファーマシストに又はＪＰＡホームページの「問い合わせフォーム」からお問い合わせ下さい。

公益社団法人日本パワーリフティング協会　御中

資料22　18歳未満同意書
＜平成２８年　４月制定＞
＜平成３０年１２月改訂＞

資料23　摂取医薬品･サプリメント申告書
＜平成２８年　４月制定＞
＜平成３０年１２月改訂＞
＜令和　元年　８月改訂＞

摂取医薬品・サプリメント申告書

（公社）日本パワーリフティング協会　御中
全日本大会主管協会　御中

この度、　　　年　　　月に開催される第○○回全日本○○パワーリフティング選手権大会に出場するに際して、以下の医薬品及びサプリメントの摂取について申告致します。

年　　月　　日

署名（自署）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

※日頃摂取している医薬品、サプリメント及び大会日前の１か月以内に摂取予定の医薬品、サプリメントを正直にご記入下さい。何も無い場合は、「無し」とご記入下さい。

製品名	メーカー又は販売元	摂取（予定）時期

※摂取医薬品・サプリメントが３製品を超える場合は、別紙１に記載して下さい。

住　所	〒	
氏　名	ふりがな：	
所　属	☐団体（名称：　　　　　　　　　　）☐個人	
連絡先	E-mail	
	電話番号	固定：　　　　　　　携帯：
	ＦＡＸ	
アンチ・ドーピング講習会の受講証明書	☐有（有効期限：　　　年　　　月）　☐無（下記により受講申込み）	

・署名（自署）は必ず手書きして下さい。
・アンチ・ドーピング規則違反が心配の方は、スポーツ医科学委員会が相談を受けます。ＪＰＡのホームページお問い合わせコーナーを利用して、お気軽にご連絡下さい。尚、E－mail、ＳＭＳ、ＦＡＸ、手紙等で回答や連絡を差し上げますので、医薬品、サプリメントを含めて、連絡先を漏れなくご記入下さい。
・入手した個人情報は、ドーピング防止対応と本大会の運営に関わること以外に使用しません。

・・

本大会時のアンチ・ドーピング講習会受講申込書

受講者には講習会受講終了後、受講証明書を速やかに渡しますので、受講希望者は以下の記入欄に記入し、申込みを行って下さい。３名を超える申し込みの場合は、別紙２にご記入下さい。

希望日	氏　名	住　所	電話番号

別紙１：摂取医薬品・サプリメント申告書

製品名	メーカー又は販売元	摂取予定時期

年　　月　　日

自　署＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

別紙２：ドーピング防止講習会受講申込書

受講希望者が３名を超える申し込みの場合は、下記に記載して下さい。

氏　名	住　所	電話番号

年　月　日

受講者代表氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

JADA 発 第 061 号
2020 年 11 月 6 日

本機構加盟団体
アンチ・ドーピング担当者 様

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
事務局長 綾部 吉也
(公 印 省 略)

世界アンチ・ドーピング規程改定に伴う
18 歳未満競技者親権者からの同意書の取得について

平素より、アンチ・ドーピング活動にご尽力とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。
2021 年 1 月 1 日に改定される世界アンチ・ドーピング規程に準拠した国内体制の整備の一つとして、18 歳未満競技者親権者からの同意取得の流れが変更となります。つきましては、下記及び別添資料をご確認のうえ、関係各位へご周知くださいますようお願い申し上げます。

記

対　　象： 18 歳未満競技者及びその親権者
改定内容： 18 歳未満競技者の親権者同意は「競技会主催者」から「JADA の責務」に変更
(2021 年検査・ドーピング調査に関する国際基準付属文書 B. 3)

【競技団体への依頼事項】
別添①「大会要項等掲載文雛型」の全文を競技者へ情報伝達される方法にて周知徹底ください
注意：今まで注意喚起の一文のみ掲載していた場合も、**今後は全文を掲載ください**
周知いただく競技会の範囲： **競技会検査を例年予定している大会及び全日本レベルの大会**

【対象となる競技者の実施事項】
- 対象者は競技大会へ参加する際に、署名済みの「親権者の同意書（別添②」を携行
（親権者の同意書は、JADA WEB サイトよりダウンロード可能　英語版は後日掲載予定）
- ドーピング検査対象となった 18 歳未満競技者は、署名済み「親権者の同意書」を検査員へ提示
- 検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出してください。

（注意）親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続きに一切影響がないものといたします。

【別添】①大会要項掲載文雛型　　②18 歳未満競技者親権者 同意書

【問い合わせ先】検査部 電話：03-5801-0958 メール：testing@playtruejapan.org

以上

赤字：修正内容

《大会要項掲載文雛型》

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。

2. 本競技会参加者（18 歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。

3. 本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（ https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html)からダウンロードできます。18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。

5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意して下さい。

6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（http://www.playtruejapan.org）にて確認して下さい。

公益財団法人
日本アンチ・ドーピング機構 御中

18歳未満競技者親権者　同意書

私、【親権者氏名】　　（ふりがな　　）は、【18歳未満の競技者】　　（ふりがな　　）（以下「甲」）の親権者として、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（以下、「JADA」）に加盟している競技団体に登録するすべての競技者（甲を含む）に、世界アンチ・ドーピング規程、同国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程（以下「規程等」といいます。）が適用されることを理解します。

更に、ドーピング検査や検体分析、結果管理その他の規程等において定められる一連の手続（以下「ドーピング・コントロール手続」といいます。）の内容を理解し、甲に当該内容を理解させます。

また、甲がドーピング検査の対象となり、採取検体の種類を問わずドーピング検査を受けることに同意し、ドーピング・コントロール手続に服することに対して異議を申し述べません。また、規程等が随時更新されることも理解します。

本同意は、甲が満18歳となるまで有効とし、本人が18歳になるまでの間に親権者が私以外にかわった場合には遅滞なく私から貴団体に通知し、新たな親権者から同意を得ることを誓約します。

また、私は、過去の情報を含む、甲に関するすべての情報（個人情報を含む）並びに本同意書が、検査やインテリジェンス活動等のアンチ・ドーピング活動に必要な範囲で、世界アンチ・ドーピング機構、国内外の競技連盟、主要総合大会組織、独立行政法人日本スポーツ振興センター等に提供されることに同意します。

年　月　日

【親権者】

住　所：

自　署：

上記内容について了解いたしました。

【競技者】（甲）

競技名：

住　所：

自　署：

生年月日：　　年　　月　　日

ver.2021.01

資料24　アンチ･ドーピングの誓い
＜令和　元年　８月改訂＞

★開会式において、大会委員長又は大会実行委員長が音頭を取ります。

アンチ・ドーピングの誓い
＜全員唱和＞

「アンチ・ドーピングの誓い」について、みんなで唱和します。
私が、「ひとつ」と申し上げますので、続けて本文を大きな声で読み上げて下さい。全部で３つございます。では、お願いします。

一つ　ドーピングは、スポーツにおける公平さを否定する卑怯な行為です。スポーツマンシップに基づいて競技する私たちにとって、許すことはできません。

一つ　ドーピングは、スポーツの楽しさ、感動、夢を奪う社会悪です。子供たちのお手本となり、社会の模範となるアスリートとして、許すことはできません。

一つ　パワーリフティングの仲間とともに、ドーピングをしないことを決意し、禁止物質を使用しないこと、摂取する物に十分な注意を払うこと、などの基本ルールを厳守することを誓います。

（公社）日本パワーリフティング協会